

総合的な学習の時間－１（第３学年）多面的にまたは細分化してとらえた情報を、関連付け類型化する力を育てる事例  
【学習活動の概要】

1 単元名 伝えよう！美山の自慢		
2 単元の目標 美山の町についての情報を集め、その分析を行い、テレビ番組を製作することを通して、自分のたちの町のよさを再認識し、地域に誇りと愛着をもとうとする。		
3 評価規準 【課題設定の力】テレビ番組の製作に向けて、自ら課題を設定し計画的に学習している。 【論理的思考の力】テーマを多面的にとらえたり、序列化したりして考えている。 【コミュニケーションの力】相手の立場を考えて、町に対する自分の思いや気持ちを伝えている。 【意思決定・行動力】調査したことを基に、町の自慢を伝える番組作りを協力して行っている。		
4 教材 本単元では、自分の町の自慢をテレビ番組にしていく活動が中心となる。児童は美山町に住みながら、自分の町のことをよくは知らない。そこで、「美山の自慢」について調査する活動を通して自分の町を見つめ直し、その自慢を伝えるテレビ番組作りを行うことで自分の町に誇りと愛着をもって欲しいと考えた。また、児童自身が地域にかかわる活動を行うことで、地域の一員としての自覚が育ち、ふるさと意識をもった児童の育成を期待したいと考えた。		
5 主な学習活動 (1)単元の展開（全３８時間）		
	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点
第一次	○美山の自慢とは何か、町探検やインタビュー、アンケートによる調査を行い、情報を集める(9:本時 6/9)	・町探検やインタビューを通して集めた情報をウェビングマップに整理していく。
第二次	○集めた情報を序列化する活動を通して、美山の自慢とは何か考える。(5) ○テレビ番組作りをする。(18) (計画書を作る、番組作りのための情報を再度集める、絵コンテをつくる、撮影をする、編集をする)	・集めた情報のランキングをしながら、美山の自慢を決めていく。 ・美山の自慢の内容を考え、内容にふさわしいテレビ番組の制作、発表を通して、自慢を広く地域に伝えていく。
第三次	○「美山の自慢」番組の発表会をする。(4) ○活動を振り返りレポートにまとめる(2)	・活動したことを振り返りまとめる活動を行う。
(2)本時の学習 町探検やインタビューをして集めた情報をウェビングマップに書き加えることで、美山の自慢は何かを考え、課題を明らかにする。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○町探検やインタビューの結果を振り返る。</li> <li>○自分のウェビングマップに町探検やインタビューで集めた情報を書き加えていく。</li> <li>○友達同士でウェビングマップを見せ合い、美山の自慢は何かを考え発表する。</li> </ul> </div>		

